

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Association between cesarean section and constipation in infants: the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル: 帝王切開で出生した児の便秘発症リスクについて

ユニットセンター(UC)等名: 富山UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: BMC Research Notes

年: 2018 月: 卷: 頁:

筆頭著者名: 吉田丈俊

所属UC名: 富山UC

目的: 帝王切開で出生した児が便秘に罹患しやすいかどうかを調べる

方法: 帝王切開で出生した児と経膣分娩で出生した児の1歳での便秘率を比較する

結果: 両群で排便回数、便秘率に差がなかった。

考察: (研究の限界を含める)
分娩様式は腸内細菌叢に影響を与えると報告があるが、乳児期の排便回数には影響を与えなかったと推察される。

結論: 帝王切開で出生した児は1歳の時点において、経膣分娩で出生した児に比較して便秘に罹患しやすいという事実は無かった。